

-Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 27 日(日)

試合時間：14：00～

CC：上山 正智

U1：川島 司

U2：隈元 ゆみこ

| | | | | | | |
|--------|----------|----|-------|----|----------|--------|
| 九州産業大学 | ○ 9 6 | 35 | —1st— | 20 | ● 8 3 | 鹿屋体育大学 |
| | | 16 | —2nd— | 24 | | |
| | | 26 | —3rd— | 16 | | |
| | | 19 | —4th— | 23 | | |

第 1 クォーター

開始早々、九産大は激しいディフェンスからミスを誘い、#5 Jeremiah のアシストで#5 2 千々岩がレイアップシュートを決める。対する鹿体大は、#1 2 川尻のアシストで#9 長谷川がジャンプシュートを決める。中盤になっても九産大はディフェンスの勢いを落とさず、力強いプレーで得点を重ねていく。思うようにいかない鹿体大は残り 5：25、タイムアウトを請求する。その後、果敢に攻めるもリングに嫌われ得点が伸びない。終盤になっても、九産大の勢いは止まらず、35-20 の九産大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

鹿体大#2 櫻谷のフリースローで第 2 クォーターが始まる。流れに乗っている九産大は、すぐさま#3 2 Anthony がシュートを決め返す。両チームとも点を重ね合い、点差は縮まらない。中盤、鹿体大#2 5 野口の 3P シュートとジャンプシュートの活躍で、流れは鹿体大に。九産大はたまらず残り 5：20、タイムアウトを請求する。しかし、鹿体大の勢いは止まらず、怒涛の追い上げを見せる。終盤、九産大#5 2 千々岩の 3P シュートが決まるが、7 点差まで追い込んだ鹿体大の勢いは落ちず、51-44 で九産大リードのままだが、点差を縮められ第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

前半とは違って両チームとも落ち着いた入りをする。最初に決めたのは、九産大#5 7 川崎のシュートで、その後も#5 2 千々岩の 3P シュートで点差を離す。しかし、鹿体大は落ち着いてプレーし、#2 櫻谷のシュート、#2 1 池浦のバスケットカウントで対抗する。中盤、追いつきたい鹿体大だが、九産大の#1 3 上良の連続得点を許し点差を離されてしまう。終盤、鹿体大は#2 櫻谷のアシストで#2 4 宮崎のシュートを決め得点を重ねる。しかし、九産大も#5 Jeremiah のバスケットカウントが決まり、リードを許さない展開となり、60-77 の九産大リードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

最終クォーター、追いつきたい鹿体大は#2 櫻谷の 3P シュート、#2 1 池浦のオフেনスリバウンドからのシュートで得点を重ね好調の出だしとなった。対する九産大は、#2 2 川口がシュートを決め、簡単に流れを渡さない。中盤、鹿体大#2 1 池浦のバスケットカウント、ジャンプシュートにより、残り 4：50、九産大はタイムアウトを請求する。その後、両チームは一進一退の展開となる。終盤、九産大#1 3 上良と#9 米須のシュートが決まり、鹿体大は残り 49. 1 秒、たまらずタイムアウトを請求する。しかし、九産大の勢いは止められず、96-83 で九産大が勝利した。